

# 市政を問う

## 市民の声を!



今回は15名の議員が質問しました。(質問者順)

## 公共交通網の整備を早急に

角田晴義議員

吉村総務企画部長 早期の試験運行を実施したい。



**議員** 前回の議会でもお願いした、原の町から迎島までの緊急対策と、市内公共交通対策はどのようにになっているのか。交通

弱者に対するアンケート調査を民生委員さんの協力のもとに行なっていると聞いているが、その経緯と今後の対応策について伺いたい。

**総務企画部長** この調査を踏えて地域審議会を開催し意見を伺った。改めて地域公共交通の整備を認識している。今後、地域公共交通会議を開催し、市内公共交通構築に向けて関係者を

含めた合意形成にも取り組みながら進めていきたい。市の考え方としては早期の試験運行を実施したいという基本姿勢は変わっていない。

## 地元購買力推進券は松本市政のヒット作

**議員** 神崎市の商工会が発行している地元購買券について伺いたい。商工業の活性化を目指したこの事業は松本市政のヒット作と言っても決して過言ではない。この券は600万円発行されたが販売はどのようにされているのか。また来年度はどのように考えているのか。

**牟田産業建設部長** 住民の皆さん一人一人に理解していただきたいため、市報神崎への掲載やチラシを新聞に入れるなどのPRを行なっている。来年度は、本年度の実績をもとに商工会と話し合いながら、増額の傾向を進めていきたい。



## その他の質問

- ・ 職員の教育
- ・ 文化協会の強化
- ・ 学校給食共同調理場の充実



地場産業の活力に。  
神崎市地元購買力推進券

**議員** 来年度以降も神崎市の商業活性化のために、今後も継続し大きく成長させていきたい。加えて、発行額と市の補助金の増額をお願いしたい。

# 神崎市の財政状況は

白石 昌 利 議員

吉村総務企画部長 市の債務残高は約206億円。市民一人当たり約60万円となる。



いもので、立て直すには自主財源を確保し、地方債の返済に力を注ぎ、財政の健全化を目指す必要がある。また、合併特例債も地方債であり、その使途は慎重でなければならぬ。平成19年度の市の財政状況は。

**議員** 産業建設部の努力により、千代田中部小学校前の傾斜した危険な歩道が、平行的な安全な歩道に改善され、児童・生徒たちが安全な通学・下校ができるようになった。今後とも、市の安全確保に尽力して頂きたい。

## 神崎市の財政状況について

**議員** 市の財政状況は大変厳しいもので、立て直すには自主財源を確保し、地方債の返済に力を注ぎ、財政の健全化を目指す必要がある。また、合併特例債も地方債であり、その使途は慎重でなければならぬ。平成19年度の市の財政状況は。

**議員** 市は自主財源を確保し、市民に負担をかけない財政計画が必要である。そして、市民に将来財政状況の安心を与えるため、今の市債をどのように返済するのか説明が必要だがその返済計画は。

**総務企画部長** 毎年5ないし、6億円程度は減っていくと試算している。

**議員** 市の財政は非常に厳しい。市債返済も長期間必要とする。また、社会情勢も今後大変厳しくなるといわれている。行政の事業は抑えるところは抑え、無駄は省かないといけない。又、情勢によっては事業の見直しをして、市民に説明が出来るような事業の執行が必要である。

## 農業振興について

**議員** 軽油取引税の免税額の拡大についての要望は。

**本村農林水産課長** 県農政担当課長会などで要望をしていきたい。

**議員** 農機具の大型化に伴う免許取得及び、受講を受けやすくできないか。

**牟田産業建設部長** 受講の申し込みについては、次年度などに回されることもあっている。今

後、改善をして、多くの方が参加できるように要請していく。  
**議員** 肥料の経費削減に、バイオマスでの液体肥料を使用した先例地があるが、市の考えは。  
**産業建設部長** 液肥効果の実験的検証も必要。先例地から液体肥料の譲渡を要望したい。



改善された千代田中部小学校前歩道

**その他の質問**  
・西九州大学との連携事業について

## 教育環境の整備状況および 資材高騰対応について

松本 軍 二議員

實松教育長 2名のスクールソーシャルワーカーを配置  
した。



**議員** いつの時代でも生きた学力は、押し付けでは育たない。「自ら学び意欲の育成」が重要で学校図書室は、児童・生徒の知的活動を増進し、人間形成や情操を養う上で大きな役割を担っている。市内の小・中学校における図書の充足状況は。  
**島教育部長** 読書活動の子供割合は、小学校91%、中学校82%

と、県内でも高い傾向にある。

7小学校合計で、標準53、840冊に対し蔵書66、512冊と充足率は123・5%。  
3中学校合計で、標準28、800冊に対し蔵書29、660冊と充足率は103%であり、国の定めた標準数には達している。  
今後は、計画的に図書の更新に努め、学校図書室の充実を図る。  
**議員** スクールソーシャルワーカー事業が本年度から導入され、市においても、6月議会で当該事業の導入が可決された。その後の推移は。



神崎市内小学校の図書室

**教育長** 文科省の今年度新規事業であり、いじめ、不登校、児童虐待等は、児童・生徒の心の問題と共に、家庭・地域など環境問題の絡み合いが多く、学校の枠を越えて、関係機関との連携多様な支援方法を用い、解決への対応を図る事業であり、2名のソーシャルワーカーを配置し目的に沿った活動を実施すると共に、情報の収集に努め運営会議の開催に向けた準備段階である。

### 資材高騰の対応について

**議員** 建設資材の価格が急激な高騰に伴い、国交省は単品スライド制度の適用を決定された。国県からの、運用基準等の通知に基づく検討状況は。

**吉村総務企画部長** 県からの単品スライド条項の運用基準を受け、資材高騰に伴う増額分が対象工事費の1%を超える額との基準を基に、請負額の変更対象となる工事の有無について検討の結果0・7%であり、請負額の変更に該当しなかった。



脊振町2000年館の図書室

# 木材の利用及び関連産業の育成は

廣 龍 恒 明 議員

市長 企業誘致と共に自然との共生は大切、森林を守るために頑張っていく。



**議員** 林業の採算性悪化・山村の過疎化などで荒廃が進んでいる、手を入れないと荒れる人工林の対策は。

**牟田産業建設部長** 林業基盤の整備、木材資源の利活用等の整備事業だが、現在の市の事業として森林保全整備事業、造林事業により下刈り、間伐等の事業で森林の育成を行っている。特に

間伐等の遅れによる荒廃山林の健全化策が急務と考え事業に取り組んでいる。

**議員** 木質バイオマス及び木質ペレット利用、これは発電熱供給施設、バイオマスエネルギー施設等、県・市・森林組合・林業者と業者が事業を行うとなっているが、これは実施可能か。

**産業建設部長** 木材、間伐材の有効的なエネルギー活用として環境に優しく、石油燃料に代わるものとして大きく期待されている。市としても現在、バイオマスエネルギー計画が県により策定されており、良く検討し有効活用に取り組んで行く。



脊振町木材の利用は考えているのか

長寿医療制度がスタートして九ヶ月、その後どのようになったか

**議員** 保険料の納付方法・制度の円滑な運営のための見直しが行われて、更なる見直しが検討されているが、その説明はどのようになされているか。

**中野市民福祉部長** 制度の改正に伴っての説明会は老人クラブ、民生委員会、その他の会議を開催して、変更等の説明を行っている。

**議員** 新聞報道によると保険料の滞納者が全国72市で20万人と報じられていたが、一年以上滞納すると原則保険証を返還して

無保険になるが、市の状況はどうか。  
**市民福祉部長** 収納率については、98・5%で推移している。未納者については督促状、電話依頼及び、自宅訪問を行っている。資格証明書は、1年経過していないので発行していない。

**その他の質問**

- ・ 定額給付金制度
- ・ 国保保険証がない世帯の取扱いについて
- ・ 職員の大量退職に伴う職員の資質向上及び育成対策



脊振町木材関連産業の育成は考えているのか

# 「筑後川水系河川整備計画」に基づき城原川整備の現況は

古賀 安 行 議員

牟田産業建設部長

計画に基づき19年度から国管理区間の河川整備は段階的に実施されている



議員 城原川は平成18年7月20日に策定された「筑後川水系河川整備計画」に基づき、国管理区間の河川整備が実施されることになり整備の現況は。

産業建設部長 城原川河川整備計画については、筑後川水系河川整備計画に基づき、平成19年度から国管理区間の河川整備は

段階的に実施されている。又当該整備計画との整合を図りながら、県管理区間の河川整備計画についても早急に策定することになっている。城原川ダム事業においても、地元調整が鋭意進められている。

石堰、堰、草堰、樋管等と上下間の流量調整は

議員 歴史的には、土木治水の名手、成富兵庫茂安の技術によって構築されたと言われる石堰、堰、草堰、樋管等が設けられて農業用水、生活用水又環境

用水として今日まで営まれて来た。この堰、樋管又上下間の流量調節等はどうのように整備されるか。

産業建設部長 県が主体となつて城原川水利用検討会を軸として、多様な水利用を図るため堰や樋管の整備が必要。新たな取水ルールの確立と、管理の省力化が必要。課題を解決するには、樋管や堰の整備に併せ当該施設の統合も視野に入れた検討が必要と考えられる。

遅れている千代田町内の農道の舗装整備

議員 農業機械の大型化が進む中、千代田町内の農道整備が遅れている。早急な整備を。

産業建設部長 神埼町の農道舗装率は92%で、千代田町は54%。千代田町は、農道の整備が遅れている。ふるさと農道緊急整備事業により、5ヶ年計画で整備を実施する。

その他の質問

- ・ 原油価格高騰、飼料肥料、農薬等価格の高騰による、深刻な打撃対策は
- ・ クリークの保全対策の要望活動の成果は
- ・ 麦わら有効利用による、上乘せ助成金の成果は



老朽化した城原川嘉納付近の内側樋管

# 市町村消防の広域化で、より一層の安心・安全への強化を

西原正 剛議員

吉村総務企画部長

災害の大規模化などの消防環境変化に対応する為、消防の広域化が進められている。



**議員** 平成24年までに、常備消防の広域化を目標に推進計画を策定していると思うが、現在どのように進められているのか。  
**総務企画部長** 平成19年8月に検討委員会の設置がなされ、これまで5回の幹事会及び委員会を開催しているが、いまだ広域化の方向性については結論を

見えていない。

**議員** 県の指示により広域化は進められると思うが、過去千代田町には出張所があったと思う。今後、益々高齢化が進み救急業務が増えると思うので、神崎市にとって一番良い広域化の計画を策定してほしい。

次に、非常備消防については、地域市民の生命・財産を守ってもらうに増え又、昼間の活動がまま成らない中で、地域支援団体・協団体の考えはあるのか。  
**総務企画部長** 地域消防団への支援については、尾崎西分の取

り組みを契機として2、3の集落で組織化の動きも芽生えている。

なお、自主防災組織については、11月末で21の集落と、徐々に幅が広がっている。

**議員** 今後、地域支援団体が増えるためにも市からの支援もお願いしたい。

**総務企画部長** 自主防災組織にどういった支援をするのか、当初予算の議論の中で進めていきたい。

## 市有施設利用について

**議員** 神崎中学校体育館解体に伴い、中央公園体育館の位置付けはどのように考えているのか。

**島教育部長** 当時、中学校体育館が耐震診断の結果、危険校舎と判断され、建て替えを基本として計画されたもので、名称は中央公園体育館という形になっているが、本来は神崎中学校体育館と位置付けている。

**議員** 一般市民への対応はどのようにしていくのか。  
**教育部長** 一般の方への対応は、

多目的室・会議室・和室について、昼・夜とも開放している。アリーナについては、部活終了後開放している。

**議員** 体育館解体後にグラウンド整備を行う予定だが、計画は立てられているのか。

**教育部長** できれば21年度に実施したいと思っているが、その計画にあたってはグラウンドが有効に活用できるように、関係機関と協議して取り組んでいく。

**議員** グラウンド整備も早急にお願したい。又、中央公民館の屋根の部分の老朽化により、雨漏りがあると聞いている。早急に対処してもらいたい。

## 火葬場の問題について

**議員** 神崎市が抱えている火葬場の問題で施設の構想は。

**市長** 火葬場の建設に関しては、何とかめどを立てたいと思っている。

**議員** 必要不可欠な施設なので、早目に完成できるように協議をお願いする。

# 城原川の安全対策について

片江 護 議員

市長 ダムについては整備計画に基づいて進めてほしい。



議員 城原川の安全対策について、これまで市長は神崎市全体の問題であるので筑後川水系河川整備計画に基づき、特に南部地域が危険だから環境にやさしい流水型のダムを造りたいと何度も議会で説明しながら、今回何の説明もなく国、県に貯水型のダム建設の要望書を出している

と聞くが、本当であるなら市長は市民に対してきちんとした説明責任を果たすべきではない



千代田町を流れる城原川

かったか。

真島脊振総合支所長 今年の区

長会で城原川ダムについて説明をしてほしいとの意見があり、その後区長さん方から下流域の方は特に渇水期などは末端まで水が流れてこないということで、防火水槽あるいは環境面で非常

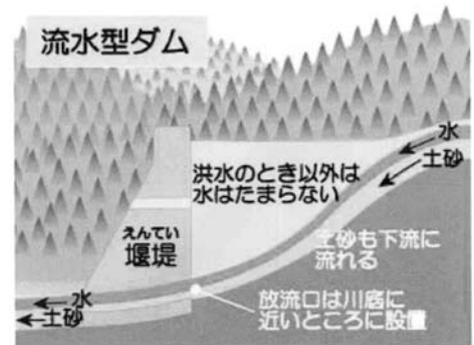
に困るからダムを造るなら水を貯めるダムを造ってほしいというような事で、市のほうに要望書が上がってきた。それを受け、区長連名の要望書であったので市としては国や県に貯水型ダムで検討をしていただくようお願いしました。

議員 今までダムを議論する中で、市長は環境に配慮して県知事が流水型ダムと言われるのでと流水型ダムを容認しておきながら、市民に説明責任を果たすべきではなかったか。ダム建設反対の要望書が区長さんから出されたら国・県にダム建設反対の要望書を提出するのか。

市長 ダムについては整備計画に基づいて進めてほしいと思っている。多分明確に私は流水型ダムでという発言はしていないと思う。



その他の質問  
・迎島線バス問題について



城原川の河川整備（流水型ダム）

# 未曾有の不況による市民の生活苦 に対し、減免制度の改革に急げ

福田 清 道議員

中野市民福祉部長

保育料の減免取扱要綱を早急に作成し、それに基づいて対応していきたい。



安心して暮らせるまちに、特に子育て世代への生活応援を

議員 地方自治体の第一の使命は、「住民の命と暮らし」を守ることである。今、特にこの大不況の中で一番苦勞しているのは子育て世代の人たちである。市はこの世代の人たちに対し、保

育料、医療費、教育費、給食費、住宅費などへの減免制度、補助制度の具体的対策を緊急に図り実行すべきである。

市民福祉部長 市の保育料は国基準の、72・6%程度であり、県内において低いほうである。しかし保護者にとって保育料は、前年度所得によって納めることになるので本当に大変なことであることは解っている。

しかし引き下げについては大変難しい状況である。

議員 引き下げは困難との答弁であるが、行政はそこに住む住民の命、暮らしを守る最大の義務を負っている。市の総合計画

には、子育てについて「健やかに安心して暮らせるまちづくりを目指す」と書いている。しかし、市の行政の実態は今の答弁が典型的なように、総合計画に基づいて、その方針を具体化するということがほとんどなされていない。たとえば、保育料の引き下げにしても、市は保育料区分を市民税納付額によって、8階層に分けている。これを10階層に増やせばかなり引き下げになる世帯が出てくる。若い親世帯の子育ての経済的負担を減らすため、市長はこういう階層にこそ目を向け、引き下げを図るべきではないか。また、未曾有の不況により、職を失った方、収入が激減した方に対して、保育料などの公共料金の減免制度を早急に整備すべきである。

市民福祉部長 厚生労働省児童家庭局企画課長からの通知に基づき、早急に保育料減免取扱要綱を作成し、市民の要望に対応したい。

市長 今日の大変厳しい経済情勢の中で、どういった方々を救



子育てしやすいまちづくり  
(西郷保育園)

うのかということ、その選択も大変難しい。

しかし、子育ては当然やらなければならぬことであるので、所得が無くなったりした時は、市への減免申請をしていただきたい。

## その他の質問

- ・ 小学校6年までの医療費無料化を
- ・ 給食費の引き下げを
- ・ 出産支援制度の充実を、特に産後のケアについて

# 指定管理者制度のあり方は

佐藤 知美 議員

吉村総合企画部長 応分の成果があった。



とこれまでの成果、今後の方針は。

**総務企画部長** 神崎市において

は平成18年の9月から老人憩いの家、千代田の福祉センター、高取山公園など15の施設で導入し、契約期間は3年から5年とし、成果については、物価や人件費の上昇等があっても、契約期間中の委託金額が固定されたため、応分の成果があった。

**議員** 指定管理者制度は平成15年6月に地方自治法の一部改正によって公の施設の運営管理を株式会社を始めとした営利企業、財団法人、NPO法人などに代行させることができるとして指定管理者制度が導入された。神崎市では、今議会でも5議案が提案され、これまで15の施設において社会福祉協議会を中心に指定して運営が行われてきたが、指定管理者制度の考え

今後のあり方については、行政改革推進本部会議において黒津の児童館など4施設については契約満了で市の直営とし、その他の施設については、経費の節減が図られないか検討し、今後指定管理者に管理運営を委託することとしている。



火災から暮らしを守る  
住宅用火災警報器

**議員** 4施設が指定管理者から市の直営に戻した判断は。

**平政策推進課長** 黒津の児童館

については、管理運営の実態が電気料、水道料金の支払いで、管理委託する必要がない、後の3施設は千代田の生きがいセンターで、この施設については実態的には、地元の公民館的な役割で利用されており指定管理者としての管理運営になじまないという判断。

**議員** 指定管理者制度は、公の施設を営利目的とした民間企業

に管理運営の道を開くものであり、福祉・教育の施設への導入は慎重にすべきだ。



## その他の質問

・住宅用火災警報器の設置助成について

# 財政再建を理由とする安易な 行政民営化はすべきでない

原 信義 議員

市長 十分審議しながら進めたい。



議には至っていない。

**議員** 学校給食の目標を達成するためには財政再建を理由とする安易な給食センター管理民営化をすべきでないと考える。学校給食の健全な発達を図ることや市長の言う地産地消、食育教育推進と施設の民営化は矛盾する。

**市長** 教育委員会の検討結果や地域の要望、食育、地産地消などをどう加味していくか十分審議しながら進めたいと思う。

**議員** 神崎市内小中学校給食センター建設とその管理運営についての市当局の方針はどのようなものか、お尋ねする。

**島教育部長** いままで5回の検討委員会を開き、共同調理場建設計画検討資料案を作成した。22年度に建設できたらという希望を持っている。9億円から10億円ぐらいの事業費になると思う。管理運営方式についての審



公立保育園の民営化は自治体の責務の放棄。市立保育園の質の向上を追求することが大事

**議員** 最近、神崎市立保育園運営等検討に関する提言報告書が出され、市立保育園の民営化が推進されようとしているが、初めに民営化ありき、という感じがした。今は公立保育園の質の向上を追求すべきで、そのことが民間保育園を含めて保育全体の質の向上に資することになる。公立保育園が地域で果たしている役割よりも財政再建を優先し、財政難のツケを子供に押しつけようとするのは、行政の保育への公的責任の後退、放棄につながるもので、元氣神崎市を掲げる松本市長の政治公約にも矛盾することではないか。

**市長** 民営化の答申をいただいで、それは私は尊重したいと思っている。民間でやる方がいなければ市がやらなければいけ



安易な給食センターの管理民営化をするべきでない

ないと思っている。ただし保育のレベルが低下することは許されない。

**議員** いまの答弁の中には保育の質を上げていくと、公がもつと知恵も金も出して保育条件をよくしていくという考え方はない。児童福祉法の深い思想、考え方と全然相入れないではないか。保育、教育にはもつと金をかけるという認識にならないといけない。

**市長** 保育、教育の考え方は基本的に同じ。市の運営というときに全体の中で総合的に進めさせてもらいたい。

# 新幹線長崎ルート建設が進められていますが、安全対策は

内村 夏生 議員

吉村総務企画部長

協議会及び県と連携し万全の対策  
に向け取組みたい。



## 幹線道路の整備促進について

議員 山間部の幹線道路である  
県道の整備促進は、合併前から  
取組まれてきたが現在、改良計  
画がなされ、継続中の路線・中  
断している路線等があるが、市  
として整備促進に向け、どのよ  
うに取組まれているのか。  
牟田産業建設部長 幹線道路で

ある県道の整備促進については、  
これまでも県に要望をしてきた。  
県の財政状況が非常に逼迫して  
おり新規事業の採択が厳しい状  
況であるが、再度県に対し要望  
を行い、各路線の事業実施に向  
け取組みたい。

## 新幹線長崎ルート建設による 安全対策について

議員 新幹線長崎ルート建設が  
進められているが、市民生活に  
直接影響を及ぼす踏切等の安全  
対策はどう考えているのか。

吉村総務企画部長 市内には14  
箇所の踏切があり安全性の確保



山間部幹線道路の整備を急ぐ

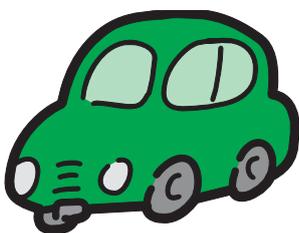
や遮断中の交通渋滞については  
重要な課題として認識している。  
これまでも沿線関係の6市5町  
で九州新幹線西九州ルート地域  
振興連絡協議会を設立し、その  
中で課題を整理し要望活動を  
行ってきた。

また、市長会でも県知事に対  
し要望書を提出し働きかけを  
行っている。今後も引続き地元  
住民の意見を踏まえて、踏切等  
の安全対策の推進については、  
九州新幹線西九州ルート地域振  
興連絡協議会と連携し、県との  
協議も重ねながら万全の対策に

向け取組んでいきたい。  
市長 安全性の確保については  
市長会からも要請しており、県  
へも強く求めて行きたい。市で  
やれる事業ではないので、国や  
県に働きかけを行い、何とか実  
現したいと強い希望を持っている。



踏切遮断中の交通渋滞は重要な課題



# は 城原川の大雨に対する安全性

志 岐 悟 議員

牟田産業建設部長 筑後川水系河川整備計画に基づく

河道掘削や堤防強化がされている。



城原川ダムプロジェクト

**議員** 城原川改修及び城原川ダム計画の疑問点について、昭和28年の大水害の災害復旧工事計画どおり施工されていない。河道の計画流下能力330トンは未完成で現在に至っている。流域委員会の議事録を見ると、一

目瞭然だと思ふ。流域委員の人选を見ても委員18人中公募は4人、城原川に面した集落からは人選がなかった。この構成では流域住民の意見は反映できてない。城原川の最低流下能力240

0トンは偽りであり、佐賀土木事務所より流下能力図、現況能力スライド堤防高により、強化数値のデータで流下能力240トン以下の点が左岸に24地点あり、右岸に19地点ある。合流口から3・2 km地点の流下能力は78トンしかなく、非常に危険である。

**産業建設部長** 昭和28年の大水害以降川幅が3倍程度に広げら



泥土の浚渫が急がれる城原川

れて以来、大きな洪水被害は発生していない。流下能力が毎秒240トンと低く平成18年7月20日の洪水では危険水位を観測した。安心して暮らすことができる地域になるために、筑後川水系河川整備計画に基づき河道掘削や堤防強化がされている。

**議員** 市民のダムに対する考えは。

**真島脊振総合支所長** 渇水期に水が不足するから貯水型をという意見もあっている。

**議員** ダムについては5〜6年前、神埼町議の時は我々の調べ

では、80%反対、議会区長会も反対であった。城原川は神埼橋下流から千代田が危険と思うが。**産業建設部長** 河川内の蓄積した泥土の浚渫を行い河道断面の不足解消並びに堤防拡幅、補強の計画がされている。



城原川と佐賀江川が合流する蒲田津水門



# 城原川の堤防は欠陥堤防ではないのか

木原 憲 治 議員

貞島建設課長 漏水箇所もあり早急に粘質土の土壌を用いて復旧を実施している。



**議員** 城原川の河川整備計画については、前回の質問の中で、是非堤防の構造の調査を実施して欲しいとお願いして、2年以上経過したが、その後調査されたのか。

**貞島建設課長** 現況の土質はかなり砂質土で、砂気が多く含まれていると国から情報を頂いている。漏水箇所もあり早急に粘

質土の土壌を用いて復旧を実施

している。今後特に、お茶屋堰

から下流の高潮区間については、

漏水箇所部分と、堤体の補強ま

で含んでの土質調査を21年度位

から随時調査を行いたいと連絡

を受けている。

**議員** 是非調査をして頂き欠陥

があれば早急に対応して頂きた

い。

次に、洪水時に、馬場川・三

本松川・井柳川から各々5トン、

計15トン、また中地江川からも

12トン、合計27トンの水が2箇

所の施設から城原川へ排水され

ると聞いているが、危険な状態

の時に排水されるのか。



神埼町鶴地区にある城原川  
への東佐賀導水路排水口

**建設課長** 各支流から全体では27トンということ、あくまで

一般的な渇水時期での調整流量

と記憶している。

**議員** 洪水時には稼動しないと

言われるが、実

際には稼動して

いたとも聞いて

いる。城原川が

危険水位に達し

ようとしている

時にも稼動して

いたら、大変な

ことになる。誰

が判断し、誰が

スイッチを切るのか確認をお願いする。

## 「全国学力テスト」実施結果について

**議員** 昨年に続き今回、2回目となるが結果をどう受け止めているのか。またPISA型読解力の育成は、新学習指導要領の焦点の一つにもなっているが、本市での取組みはどう行われているのか。



市町村への結果公表についてはまだ問題が多いようである

# 職員の早期大量退職は何が原因か

宮島 清議員

吉村総務企画部長 その理由については求めていない。



**議員** 定年を待たずして辞めていく職員が本年、特に多いが何名程か。

**総務企画部長** 平成20年度は14名である。

**議員** 早期退職の原因や理由はどのようなものがあるか。

**総務企画部長** その理由については求めていない。家庭の事情や身体の都合、定年期のライフプラン等が理由と推測している。

**議員** 民間では考えられないことだ。公務員という安住の勤務先で辞めざるを得ない原因がきつとあるはずだ。幹部クラスは退職者は住民サービスには欠かせないベテランだ。事業計画を遂行する中に必要とする人は、余程の理由が無い限り慰留していくべきではないか。

**船津副市長** 職場の問題や改善点等十分議論したいと言うことで、風通しの良い職場環境作りで、現在努めている状況である。  
**議員** 神崎市の場合、合併後の基礎を作っている最中で、大量の退職者が発生する事に、市長にも原因がある。今後は特に配慮していただきたい。

## 年金センターについて

**議員** 21年3月で閉鎖が決定している『年金センターかんざき』の対策・対応を市としてどのように検討しているのか。

**総務企画部長** 現時点では検討していない。入札の結果において再度「整理機構」から何らかの連絡がされると思う。市としてはそれから検討することになると思っている。

**議員** 再入札の結果を待つてからでは遅すぎるのではないか。もしものことを考えた青写真を作っておくべきではないか。

**総務企画部長** 先の入札後、協議して市の公共施設として使えないか検討したが、具体的な利用については結論に至っていない。

**議員** 現在神崎市には民間も含めてこのような宿泊型の施設がない。観光や市民の利用、企業誘致等を考えるなら何らかの対策は必要だ。年間の利用者が四万名弱もあるこの施設は、商工

会や地元の有志等多方面に働きかけて、期限がきて即閉鎖・野ざらしにならぬよう、是非検討すべきだ。

**総務企画部長** 宿泊施設がある町と無い町では、まちづくりのイメージとしても大事だと思うので、現在の機能を継続できるような柔軟に対応して行きたい。



どうなる、国民年金健康保養センターかんざき



# 企業誘致にこころ

藤瀬 光 正議員

垣永千代田総合支所長 南部工業団地の計画は早期完成を目指していく。



**議員** 企業誘致について、南部工業団地候補地の4haの土地はどうなったか。

**千代田総合支所長** 農村地域工業等導入促進法という法律に基づき開発行為を行っている。今後の南部工業団地の計画は早期完成を目指していく。  
**議員** 企業誘致には住宅政策も必要。総合的な企業誘致に関して住宅政策についてどう思うか。

**市長** 総合的な住宅政策を進めるには民間の活力が必要であり、足りないときには市の力としての市営住宅も必要と思う。

**議員** 市は、低所得者に対しての住宅は作るべき。企業誘致と関連して住宅政策を行い、低所得者や若年層が住めるための社会環境をよくしてもらいたい。

## 特色あるまちづくりコンディション 合併特例債の運用

**議員** 道路網の整備、脊振・神埼・千代田と縦に結ぶ線をどうつくっていくのか。

**牟田産業建設部長** 神崎市主要道路網の整備は市民サービスの

原点である。国営千代田西1号線の事業財源は地方道路整備臨時交付金とあわせて合併特例債を充当し、集落間農道舗装工事にも合併特例債を充当している。

**議員** 合併特例債を使える今、神崎市は小さな庁舎をつくり、そこから情報を発信して経営の合理化を図り、市民の生命、財産、安全を守り、福祉、教育に取組んでもらいたい。また、青年の健全育成にはスポーツを推進することも教育の一環で、総合グラウンドの整備も大事である。市民にきちっとした総合的グラウンド、野球場をつくり、伸び伸びとスポーツをして頂き、これをまちおこしに繋がれられないか。

**市長** 今子供たちはいろいろなスポーツをやっている。スポーツの場は当然必要だと思う。地域の活性化、まちおこしの問題と総合的に検討する。

## ごみ対策と液肥の利用について

**議員** 生ごみ、し尿、浄化槽の汚泥を再利用して農地に還元する循環型システムは農業所得の向上、そして老朽化する処理場を考えれば市財政に有利でもある。市を挙げて取組むべきである。



未来の世代へ「循環のまちづくり」